



日本金銭機械株式会社 (証券コード:6418)

2018年3月期 第2四半期決算資料



世界最大級のゲーミングショー(G2E2017)
に出展 (10月2~4日, ラスベガス)



インド国際鉄道展示会に出展
(10月11~13日, デリー)

2017年11月14日

・2018年3月期 第2四半期累計業績概要	..2~6
・セグメント別 業績概要	..7~11
・2018年3月期 通期業績予想	..12~15
・資金調達について	..16
・利益還元	..17
・新・中期経営計画策定について	..18~31
・参考資料	..32~45

- ・進行年度の上半期実績
- ・通期業績予想
- ・新たに策定しました「中期経営計画」

の3点を中心にご説明いたします。

2018年3月期 第2四半期累計業績概要

ポイント

■ 前年同期間比 で '減収・増益'

- ・減収…国内外の商業事業は好調に推移しましたが、ゲーミング事業が低調な推移となり、減収となる。
- ・増益…前年同期間は多額の為替差損(6億63百万円)を計上したが、進行年度は為替差益の計上となり、増益に。尚、訴訟関連費用を特別損失(2億27百万円)として計上したことにより、増益額は微増に留まる。

2018年3月期 第2四半期累計 業績概要



単位:百万円

	2017/3 2Q		2018/3 2Q		2018/3 2Q		期初計画比	
	実績	実績	前年同期比 率	増減額	期初計画	率	増減額	
売上高	15,298	14,995	△ 2.0%	△ 303	15,700	△ 4.5%	△ 705	
グローバルゲーミング	8,539	7,760	△ 9.1%	△ 778	8,050	△ 3.6%	△ 290	
海外コマース	1,884	2,074	+10.1%	+189	1,450	+43.0%	+624	
(内数)プリンター事業	(2,323)	(2,090)	(△10.0%)	(△233)	(2,300)	(△9.1%)	(△210)	
国内コマース	978	1,129	+15.4%	+150	900	+25.4%	+229	
遊技場向機器	3,895	4,031	+ 3.5%	+136	5,300	△23.9%	△1,269	
営業利益	1,147	963	-16.1%	△ 184	550	+75.1%	+413	
営業外損益	△ 581	100		682	25		+ 75	
為替差損益	△ 663	+ 96		759	0		+ 96	
経常利益	566	1,064	+88.0%	498	550	+93.5%	+514	
四半期純利益	403	453	+12.4%	49	290	+56.6%	+164	
平均為替レート	米ドル	111.79円		+ 0.34円	112.00円		+ 0.13円	
	ユーロ	124.24円		- 1.99円	120.00円		+ 2.25円	

(注) 表中の「プリンター事業」の数値は、グローバルゲーミングと海外コマースの内数の合計値である。

決算期末日レート (米ドル)

前期決算期末	112.69円	112.18円	112.18円
	↓ -11.66	↓ + 0.56	↓ - 0.18
2Q決算期末	101.03円	112.74円	112.00円

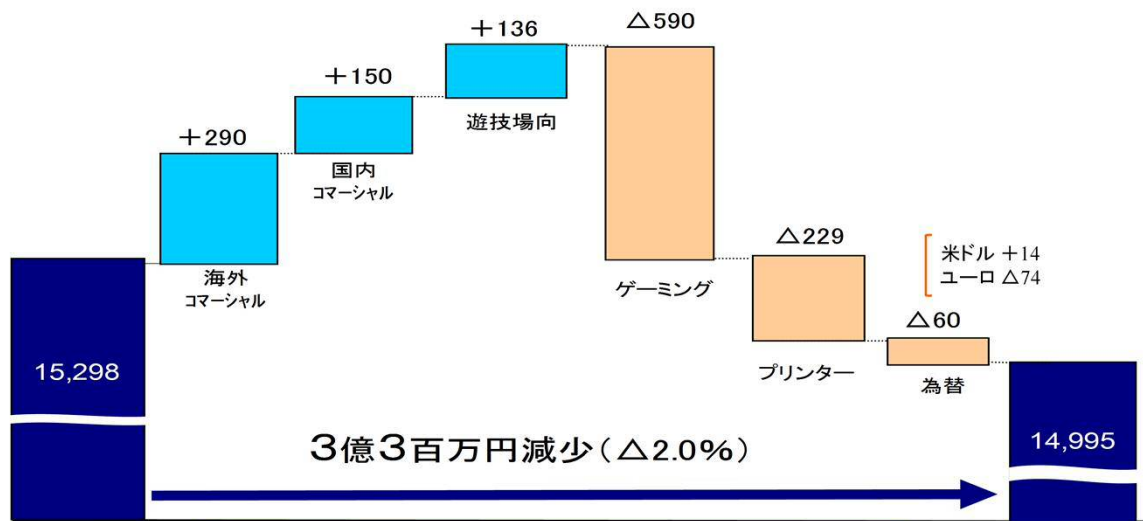
2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

3

売上高増減要因（前年同期間比）

単位：百万円



- 海外C：欧州、アジアが増収要因に
- 国内C：ガソリンスタンド等が好調に推移
- 遊技場向：譲受事業分が上乗せに
- ✖ ゲーミング：欧州における前年同期の特需の反動減
- ✖ 為替：ユーロが円高となり、減収要因に

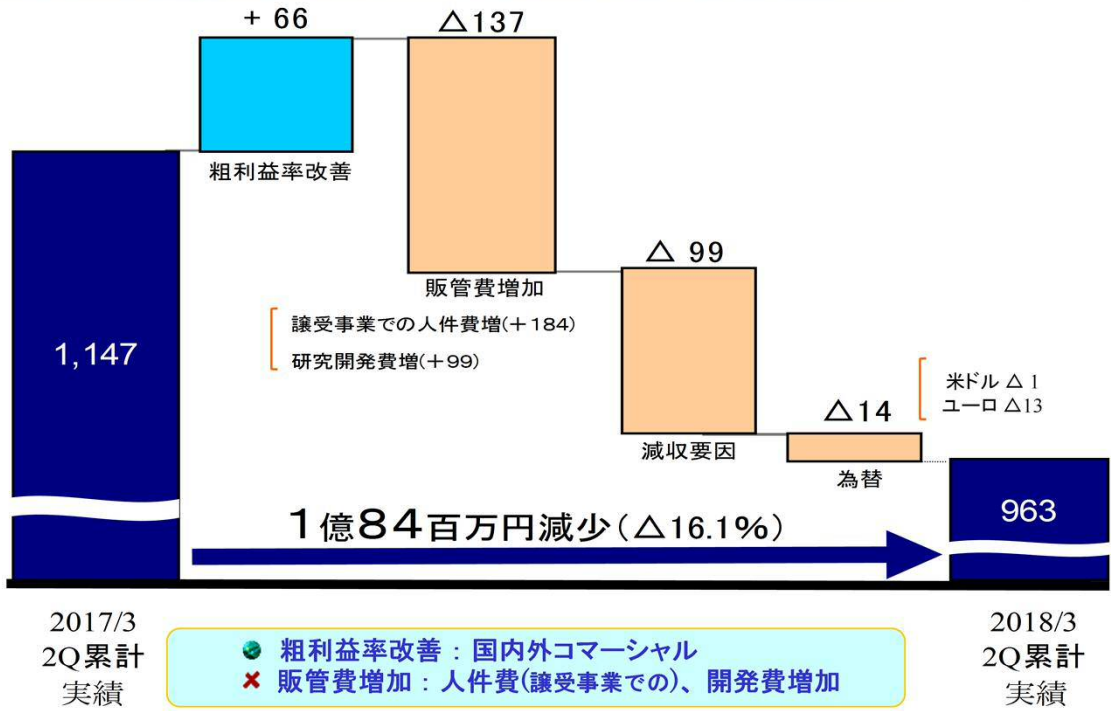
2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

前年同期間比での売上高の主な増減要因を示しております。

営業利益増減要因（前年同期比）

単位：百万円



2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

前年同期比での営業利益の主な増減要因を示しております。

2018年3月期 第2四半期累計業績（区分別）



単位：百万円

	2017/3月期 2Q累計実績				2018/3月期 2Q累計実績				2018/3月期 2Q累計計画				プリンター事業 増減	
	合計	従来事業	プリンター	調整額	合計	従来事業	プリンター	調整額	合計	従来事業	プリンター	調整額	前年同期間比	計画比
売上高	15,298	12,975	2,323	-	14,995	12,905	2,090	-	15,700	13,400	2,300	-	△ 233	△ 210
売上	39.0%	36.9%	50.3%		39.4%	37.2%	52.8%		37.6%	35.8%	48.0%		+2.5pt	+4.8pt
総利益	5,959	4,791	1,168	-	5,905	4,802	1,103	-	5,900	4,800	1,100	-	△ 65	+ 3
販管費	4,812	3,316	539	956	4,941	3,502	521	918	5,350	3,770	600	980	△ 18	△ 79
営業利益	7.5%	11.4%	27.1%		6.4%	10.1%	27.8%		3.5%	7.7%	21.7%		+0.7pt	+6.1pt
	1,147	1,475	629	△ 956	963	1,300	582	△ 918	550	1,030	500	△ 980	△ 47	+ 82

EBITDA	11.2%		10.3%		7.3%
	1,716		1,537		1,140

※ EBITDA=営業利益 + 減価償却費 + のれん相当償却費

プリンター事業は減収となるが、引き続き収益面で大きく貢献

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

6

プリンター事業の損益状況について、前年同期間比、計画比で表示しております。

プリンター事業は引き続き、特に利益面で大きく貢献しております。

2018年3月期第2四半期累計 セグメント別業績



単位:百万円

		売上高			営業利益		
		2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画	2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画
グローバル	外貨(千米ドル)	41,187	39,610	42,170	21.3%	19.0%	15.5%
	外貨(千ユーロ)	31,678	27,154	27,665			
ゲーミング	邦貨(百万円)	8,539	7,760	8,050	1,819	1,477	1,250
海外	外貨(千米ドル)	8,520	7,257	6,280	7.7%	14.9%	1.4%
	外貨(千ユーロ)	7,501	10,310	6,250			
コマーシャル	邦貨(百万円)	1,884	2,074	1,450	144	310	20
国内					4.5%	10.1%	5.6%
コマーシャル		978	1,129	900	43	114	50
遊技場向機器		3,895	4,031	5,300	2.4%	-0.5%	3.0%
調整額		—	—	—	△ 956	△ 918	△ 930
連結		15,298	14,995	15,700	7.5%	6.4%	3.5%
海外売上高	外貨(千米ドル)	49,707	46,867	48,450			
	外貨(千ユーロ)	39,179	37,464	33,915			
	邦貨(百万円)	10,424	9,835	9,500			

各セグメントの主な製品は、NO. 44, 45ご参照

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

7

セグメント別の業績を表示しております。

区分		2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画	比較増減			
					前年同期比		計画比	
北米・中南米	外貨(千米\$)	22,888	23,345	24,100	+2.0%	+457	-3.1%	-755
	邦貨(百万円)	2,559	2,618	2,700		+59		-82
アジア・ パシフィック	外貨(千米\$)	4,051	2,896	3,570	-28.5%	-1,155	-18.9%	-674
	邦貨(百万円)	453	325	400		-128		-75
欧州・アフリカ・ 中近東	外貨(千€)	27,263	23,144	24,165	-15.1%	-4,119	-4.2%	-1,021
	邦貨(百万円)	3,387	2,829	2,900		-558		-71
プリンター	外貨(千米\$)	14,248	13,369	14,500	-6.2%	-879	-7.8%	-1,131
	外貨(千€)	4,415	4,010	3,500	-9.2%	-405	+14.6%	+510
	邦貨(百万円)	2,141	1,989	2,050		-152		-61
計	売上高(百万円)	8,539	7,760	8,050	-9.1%	-778	-3.6%	-290
	営業利益(%)	21.3% 1,819	19.0% 1,477	15.5% 1,250	-2.3pt	-342	+3.5pt	+227
平均為替レート	米ドル	111.79円	112.13円	112.00円		+0.34円		+0.13円
	ユーロ	124.24円	122.25円	120.00円		-1.99円		+2.25円

欧州地域における前年同期の東欧市場(ポーランド・フィンランドAWP市場)での入替需要の反動減による要因が大きく影響し、前年同期比で減収。
 欧州地域でのドイツの法規制による市場縮小懸念と北米地域での新規案件減少の影響により、プリンターを含めて、計画比でも減収。

区分		2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画	比較 増減					
					前年同期間比	計画比				
北米・中南米	外貨(千米\$)	5,763	3,850	2,680	-33.2%	-1,913	+43.7%	+1,170		
	邦貨(百万円)	644	431	300		-213		+131		
アジア・ パシフィック	外貨(千米\$)	1,133	2,507	3,180	+121%	+1,374	-21.2%	-673		
	邦貨(百万円)	127	281	350		+154		-69		
欧州・アフリカ・ 中近東	外貨(千€)	7,501	10,310	6,250	+37.4%	+2,809	+65.0%	+4,060		
	邦貨(百万円)	932	1,260	750		+328		+510		
プリンター	外貨(千米\$)	1,624	900	420	-44.6%	-724	+114%	+480		
	邦貨(百万円)	182	101	50		-81		+51		
計	売上高(百万円)	1,884	2,074	1,450	+10.1%	+189	+43.0%	+624		
	営業利益(〃)	7.7%	144	14.9%	310	1.4%	20	+7.2pt	+165	+13.5pt
平均為替レート	米ドル	111.79円	112.13円	112.00円		+0.34円		+0.13円		
	ユーロ	124.24円	122.25円	120.00円		-1.99円		+2.25円		

北米地域は金融OEM向が計画比プラスとなるが、需要一巡で漸減傾向。アジア地域は中国リテール向が好調に推移しているが、インド、タイ向は計画未達。欧州地域ではイタリア、ロシア・東欧諸国で好調に推移し、前年同期間比、計画比で増収。

	2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画	比較増減	
				前年同期間比	計画比
売上高	978	1,129	900	+15.4%	+25.4%
営業利益	4.5% 43	10.1% 114	5.6% 50	+ 5.6pt + 70	+ 4.5pt + 64

〔主な用途別売上〕

セルフガソリンスタンド精算機向	+ 89	+111
飲食店券売機向	+ 54	+ 70

売上高は、セルフガソリンスタンド精算機向、飲食店券売機向などが、前期から引き続き好調に推移。

区分	2017/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計実績	2018/3 2Q 累計計画	比較増減			
				前年同期間比	計画比		
遊技場向	3,543	3,016	3,615	-14.9%	-16.6%	-527	-599
譲受事業	60	730	1,400	-	-47.9%	+670	-670
アミューズ メント	292	285	285	-2.4%	-%	-7	0
売上高	3,895	4,031	5,300	+3.5%	+136	-23.9%	-1,269
営業利益	2.5% 95	-0.5% Δ 19	3.0% 160	-3.0pt	-115	-3.5pt	-179

(注) 譲受事業は前期の9月度からであり、2017/3 2Q累計実績では1ヶ分の計上のみである。

遊技機の射幸性低減を目的とした規制強化(参考資料P.41ご参照)の急激な流れのなかで、ホールが周辺機器への設備投資を控える傾向が顕著になっていることもあり、売上高の計画達成と利益確保が難しい状況に。

2018年3月期 通期業績予想

ポイント

■業績予想の修正（11月13日発表済）

‘減収・減益（営業・経常段階）’

- ①損害賠償金(22億50百万円)を特別利益に、訴訟関連費用(4億50百万円)を特別損失に計上
- ②アミューズメント事業からの撤退に伴う損失(3億30百万円)を特別損失に計上
- ③国内事業 構造改革費用(1億円)を特別損失に計上

①の要因が大きく影響し、**最終利益は増益に**（前期比、計画比）

通期の業績につきましては、11月13日に発表しましたとおり、売上高、営業利益、経常利益を下方修正し、当期純利益については、多額の特別利益の計上により、上方修正いたしました。

2018年3月期 セグメント別見通し



矢印の表示は、期初想定比での見通し、●はプラス要因、×はマイナス要因

◇グローバルゲーミング

- × 北米：カジノの新規案件の減少、それに伴い価格競争も厳しさを増す
- × 欧州：下半期からドイツでのゲーミング法改正によるマイナス影響を懸念
- × プリンター：北米地域での新規案件の減少

◇海外コマース

- 北米：漸減傾向を想定していた金融OEM向での追加需要がプラスに
- 欧州：駐車場、リテール、納金機向需要が期初想定を上回って、好調に推移
- × アジア：インド、東南アジア市場での市場開拓に引き続き取り組む

◇国内コマース

- 釣銭機、公営競技券売機の更新需要の獲得による更なる上乘せに期待

◇遊技場向機器

- × 市場環境：風営法規則改正などにより、想定以上に厳しいものになる

◇為替

平均レートは米ドル 111.86円 (期初 112円)、ユーロ 126.94円 (期初 120円)

期初想定に比べて、海外コマースは好調に推移しているが、ゲーミング、遊技場向機器は下回る見込み。特に、遊技場向は「風営法規則改正」が施行される影響により不透明さが増し、大幅な乖離となる見込み。

2018年3月期 通期業績見通し



単位:百万円

	2017/3 実績	2018/3 期初計画	2018/3 見込	前期比	期初計画比
グローバルゲーミング	16,353	15,450	15,050	△ 1,303	△ 400
(内数) プリンター事業	(4,402)	(4,050)	(4,030)	(△ 372)	(△ 20)
海外コマース	3,466	2,800	3,950	+484	+1,150
(内数) プリンター事業	(252)	(250)	(250)	(△ 2)	(—)
国内コマース	2,234	2,250	2,250	+ 16	0
遊技場向機器	8,176	11,300	8,750	+574	△ 2,550
売上高	30,230	31,800	30,000	△ 230	△ 1,800
営業利益	5.8% 1,752	4.9% 1,550	3.8% 1,150	-2.0pt △ 602	-1.1pt △ 400
経常利益	5.1% 1,533	4.9% 1,550	4.0% 1,200	-1.1pt △ 333	-0.9pt △ 350
当期純利益	3.3% 1,012	3.3% 1,050	4.9% 1,480	+1.6pt + 468	+1.6pt + 430
平均為替レート					
米ドル	109.43円	112.00円	111.86円	+ 2.43円	- 0.14円
ユーロ	120.57円	120.00円	126.94円	+ 6.37円	+ 6.94円

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

14

進行年度 第2四半期累計の業績について、

売上高は、期初計画比18億円減収の300億円、営業利益、経常利益はそれぞれ4億円、3億50百万円の減益を予想しております。

但し、特別損益として予定している「訴訟賠償金の受取」や「事業撤退関連費用」などの項目を加減しますと、13億80百万円程度の利益を計上することとなり、当期純利益では期初計画比で4億30百万円の増益になると予想しております。

2018年3月期通期 セグメント別業績見通し



単位:百万円

		売上高			営業利益		
		2017/3 累計実績	2018/3 累計予想	2018/3 累計計画	2017/3 累計実績	2018/3 累計予想	2018/3 累計計画
グローバル ゲーミング	外貨(千米ドル)	88,750	79,300	80,975	18.1%	17.3%	14.6%
	外貨(千ユーロ)	55,076	48,635	53,350			
	邦貨(百万円)	16,353	15,050	15,450			
海外 コマーシャル	外貨(千米ドル)	14,730	13,825	12,490	8.0%	12.7%	1.8%
	外貨(千ユーロ)	15,368	18,900	11,700			
	邦貨(百万円)	3,466	3,950	2,800			
国内 コマーシャル		2,234	2,250	2,250	7.5%	9.3%	6.7%
遊技場向機器		8,176	8,750	11,300	4.1%	-1.4%	5.6%
調整額		—	—	—	△ 1,989	△ 2,040	△ 1,530
連結		30,230	30,000	31,800	5.8%	3.8%	4.9%
海外売上高	外貨(千米ドル)	103,480	93,125	93,465			
	外貨(千ユーロ)	70,444	67,535	65,050			
	邦貨(百万円)	19,816	19,000	18,250			

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

15

進行年度のセグメント別の通期の業績予想を表示しております。

第三者割当による第2回新株予約権の行使は、平成29年7月18日の行使をもって、全て完了いたしました。 調達金額約33億円。

下記の4項目に必要な資金を調達することを目的としておりましたが、2)新規のM&Aについては現時点で緊急を要する具体的な案件がないこと、また3)日本カジノに関しては、法案成立に向けて進展がみられないこと等を勘案して、当面の間、多額の資金需要の必要性が低いと思われることもあり、4)借入金を返済することといたしました。

《募集時における資金の具体的な用途》

- 1) 新規市場への人材・研究開発投資
- 2) 新規M&A・資本業務提携投資に対する備え
- 3) 日本カジノにおける需要拡大に備えた生産設備等の拡張
- 4) 借入金の返済

中長期の展開において、新しい市場や分野を開拓していくためには、それぞれのニーズや法規制に合致した製品開発や販路拡大に向けて、人材投資や研究開発投資が必要となります。また、当社に不足しております技術の習得や販路の確保に当たっては、M&Aや資本業務提携などの手法も有効な手段と考え、積極的に投資していく方針であります。

利益還元



2018年3月期も、年間普通配当17円を予想



※2013/3には株式上場20周年、2015/3には創立60周年の記念配当をそれぞれ2円を含む

1株当たり利益推移(円) 53.1 52.6 55.1 13.3 37.7 51.8

配当性向推移(%) 33.9 30.4 34.5 128.1 45.1 32.8

純資産配当率(%) 1.7 1.7 1.7 1.8 1.6 1.6

《業績連動型株主還元を継続》

・配当性向(連結) 30%以上 ・純資産配当率 2.0%以上 を目指す

配当性向を30%以上とし、連結業績に連動した利益還元を行うとともに、長期安定的な配当の維持に努めていく。

2018年3月期の配当につきましては、中間期 8円50銭、年間での配当額は前期と同額の17円を予想しております。

中期経営計画ローリングプランⅢ (2018～20年度)&長期ビジョン

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

18

次年度を初年度とし、2020年度を最終年度とした3ヶ年の『中期経営計画ローリングプランⅢ』を策定し、11月13日に発表いたしました。

前・中期経営計画の振り返り

- 各セグメントでの売上伸長不足、新商品投入による新市場創出の遅れ等により、最終年度における業績目標は未達の見通し

		中期経営計画 (2015～17年度)		2017年度
		最終年度		実績見込
業績 (百万円)	売上高	34,500	➔	30,000
	営業利益	7.0% 2,400		3.8% 1,150
	当期純利益	4.9% 1,700		4.9% 1,480
セグメント	売上高増減	差異要因		
グローバルゲーミング	△23億円	北米での市場停滞に伴う競争激化、アジアでのテーブルゲーム向新製品が浸透せず		
海外コマース	△11億円	欧州への新製品投入遅れ、アジアでの新市場開拓の遅れ		
国内コマース	△4億円	新製品による新市場開拓の遅れ		
遊技場向機器	△7億円	事業譲受による事業拡大を図ったが、市場環境低迷もあり、未達		

前・中計を振り返りますと、最終年度である2018年3月期は、すべてのセグメントでの売上の伸長不足、新市場の創出遅れなどにより、残念ながら中計で目標としていた数値から売上、利益ともに下回る見込みであります。

3年間の事業環境認識

■ 需要の停滞・低下、法規制の強化

- ・海外ゲーミング事業 …米国市場の飽和化、ドイツでの規制強化
- ・国内遊技場向機器事業 …規則改正等に伴う射幸性の抑制傾向

■ 決済機能に関する技術革新の進行

中期事業方針

■ 新規事業領域の拡大

- ・海外コマース事業 …アジア、新興国といった未開拓市場への展開

■ 既存事業での利益確保

停滞する売上規模を前提とし、利益ある成長を目指し、収益性の改善に取り組む

■ 強みを発揮できる領域への事業拡大の推進

新・中期経営計画 & 長期ビジョン

単位: 百万円



	2017/3月期 実績	2018/3月期 予想	2019/3月期 中期計画	2020/3月期 中期計画	2021/3月期 中期計画	2023/3月期 長期ビジョン
売上高	30,230	30,000	30,500	32,500	33,500	37,000
(率) 営業利益	5.8%	3.8%	4.3%	5.4%	6.0%	7.6%
1,752	1,150	1,300	1,750	2,000	2,800	
(率) 当期純利益	3.3%	4.9%	2.6%	3.5%	3.9%	4.6%
1,012	1,480	800	1,150	1,300	1,700	
グローバルゲーミング	16,353	15,050	15,350	15,700	15,600	15,350
海外コマース	3,466	3,950	4,300	5,300	5,950	7,450
国内コマース	2,234	2,250	2,450	2,550	2,750	3,200
遊技場向機器	8,176	8,750	8,400	8,950	9,200	11,000
期中レート(米ドル/円)	109.43	111.86	110.00			110.00
" (ユーロ/円)	120.57	126.94	125.00			125.00

<< 中期経営目標 >> ~ 最終年度(2021/3月期) ~
 ・売上高 335億円
 ・営業利益率 6%

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

21

次期・中計で想定する業績を示しております。

		2017/3月期 実績	2018/3月期 予想	2019/3月期 計画案	2020/3月期 計画案	2021/3月期 計画案	2023/3月期 長期ビジョン
北米・中南米	(千US\$)	47,976	44,700	48,645	49,100	48,200	47,700
	邦貨	5,250	5,000	5,350	5,400	5,300	5,250
アジア・ パシフィック	(千US\$)	9,176	7,800	8,500	9,100	9,100	8,600
	邦貨	1,004	870	935	1,000	1,000	950
欧州・アフリ カ・中近東	(千€)	47,242	40,600	38,655	40,000	40,800	40,800
	邦貨	5,696	5,150	4,845	5,000	5,100	5,100
プリンター	(千US\$)	31,598	26,800	31,200	31,200	30,000	30,000
	(千€)	7,834	8,035	6,300	6,950	7,050	6,250
	邦貨	4,402	4,030	4,220	4,300	4,200	4,050
(前期比)		+ 0.8%	- 8.0%	+ 2.0%	+ 2.3%	- 0.6%	+ 2% (※)
計	邦貨	16,353	15,050	15,350	15,700	15,600	15,350

(※18/3予想比)

【重点項目】

- ・ カジノ運営システム・ビジネスへの展開加速
- ・ 新規ビジネスの創出

カジノ向システムビジネスへの参入、ゲーミングライセンスを活かした
カジノータルでのビジネスモデルの提案を推進

◇カジノ向システム (FUZION)

《 機能 》



パネルのボタンに触れると、画面が2分割され、

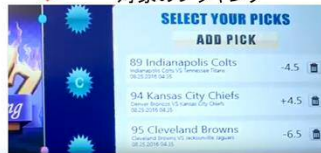
左側がスロットの画面、右側に'馬券'、'宝くじ'、'スポーツベット'等の他の賭け事のサイトが表示され、マシンに向かい合ったままで、複数の賭け事も可能になる。



↓ 数字選択式宝くじ



↓ 例えば、アメフト(NFL) 対象のブック



↓ 食事やドリンクの無料券の発行



◇大型LEDディスプレイ (Pixel Pro)



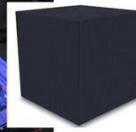
ブース内でゲームイベントを開催し、その映像を投影して、当社製品の画質の良さをアピール (G2E2017)



ブースの壁面に、'滝'の映像を投影



キュービックタイプの製品を積み合わせることで、いろいろな形状をつくり、そこに映像を投影することも提案



平面タイプ、キュービックタイプ以外に、曲線タイプの3タイプをラインナップ

◇カジノ向システム (FUZION)

《 今年の展示の様子 》



その他の機能として、スロットの画面上、またはスマホ上で紙幣イメージや記番号の確認が可能であることや払出も、チケット印刷(TITO)、スマホアプリへのTicket、スマホアプリへのクレジット入金を選択も可能になることを、今年のショーではデモいたしました

《 FUZIONが、GGB2017アワードで銀メダルを受賞 》

「ベスト・カスタマーサービステクノロジー部門」で受賞。

受賞理由は以下のとおり。

『FUZION』はオペレーターやプレイヤーのために新たな扉を開いた革新的技術である。また、プリンターやiVIZION(スロットマシン搭載弊社紙幣識別機)と結びついた将来のカジノの形を形成するものである。』

Silver Medal:

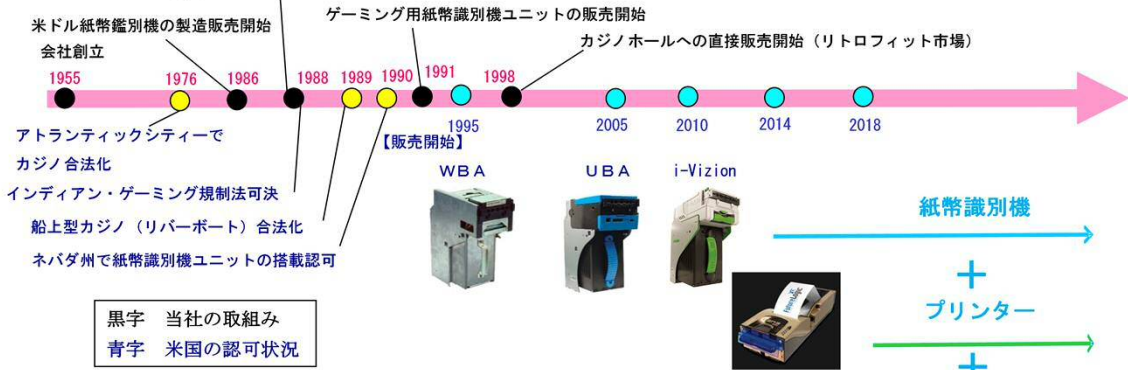
JCM Global — FUZION



※GGB: Global Gaming Business

ゲーミング市場向 ビジネスモデルの変遷

米国における当社製品の販売拠点として子会社
JCM AMERICAN CORP. を設立



黒字 当社の取組み
青字 米国の認可状況

「ビルバリ単品ビジネス」から
「システムも含めたビジネスモデル」を推進

		2017/3月期 実績	2018/3月期 予想	2019/3月期 計画案	2020/3月期 計画案	2021/3月期 計画案	2023/3月期 長期ビジョン
北米・中南米	(千US\$)	9,504	6,500	5,100	5,350	7,330	14,500
	邦貨	1,040	730	560	580	800	1,600
アジア・ パシフィック	(千US\$)	2,924	5,095	7,365	9,545	11,360	17,270
	邦貨	320	570	810	1,050	1,250	1,900
欧州・アフリ カ・中近東	(千€)	15,368	18,900	21,370	28,285	29,200	30,000
	邦貨	1,853	2,400	2,700	3,435	3,650	3,750
プリンター	(千US\$)	2,302	2,230	2,100	2,135	2,270	1,800
	邦貨	252	250	230	235	250	200
(前期比)		-14.6%	+14.0%	+ 8.9%	+23.3%	+12.3%	+88% (※)
計	邦貨	3,466	3,950	4,300	5,300	5,950	7,450

【重点項目】

(※18/3予想比)

- ・ 新製品投入による新市場への展開
- ・ 未開拓市場への展開加速

販売強化地域への注力と開発資源を集中投資し、新市場の開拓に取り組む

◇海外コマーシャル市場向け新製品（RDM、MRX）

■ RDM：納金機、流通向



【製品の特長】

新興国の小売店では強盗の被害を防ぐため、店舗内に小型金庫の導入が進んでいるが、納金機に取り付けることのできる識別ユニット

進行年度3Qに、南米市場で最初の受注を獲得の見込。中南米の他の顧客からも引き合いが増えてきており、2018年度以降、受注が本格化するものと期待。



RDMが搭載された他社のテーブルゲーム向システムがG2Eショーで展示されていた

■ MRX：交通（鉄道、駐車場）向



【製品の特長】

紙幣識別ユニットと入金・出金・リサイクル機能を持つ各モジュールとの組み合わせ方や追加によって紙幣収納容量を増やすことが可能な紙幣処理ユニット

複数社にて、採用に向けたトライアルを実施中

◇注力地域情報



【中近東】弊社製品搭載の機器の設置が、現地UAEで報道される



【ロシア】

左記は、進行年度だけ1千台以上の販売となる見込みの弊社ユニットを搭載したデポジットマシン。



【東南アジア】
弊社製品搭載の
鉄道券売機
左上：タイ
右：台湾



また、右記の銀行系の
ペイメントキオスク機でも
先ごろ、初めての受注を
いただき、次年度以降に
期待



単位:百万円

	2017/3月期 実績	2018/3月期 予想	2019/3月期 計画案	2020/3月期 計画案	2021/3月期 計画案	2023/3月期 長期ビジョン
(前期比)	+16.4%	+ 0.7%	+ 8.9%	+ 4.1%	+ 7.8%	+42% (※)
合計	2,234	2,250	2,450	2,550	2,750	3,200

(※18年予想比)

【事業環境】

- インバウンド需要の高まり、東京オリ・パラに向けた設備投資が堅調
- × 現金決済の減少による市場規模の縮小

【重点項目】

- ・ 主要取引先への新用途提案による新市場への展開
- ・ 新規顧客開拓に注力

新商材・新規用途提案による顧客創出に向けた取り組みの推進

単位:百万円

	2017/3月期 実績	2018/3月期 予想	2019/3月期 計画案	2020/3月期 計画案	2021/3月期 計画案	2023/3月期 長期ビジョン
遊技場向 機器	6,981	6,540	6,100	5,450	5,100	6,900
アミューズ メント	571	360	—	—	—	—
M&A、 販売提携	624	1,850	2,300	3,500	4,100	4,100
(前期比) 計	+ 8.0%	+ 7.0%	- 4.0%	+ 6.5%	+ 2.8%	+25% (※)
	8,176	8,750	8,400	8,950	9,200	11,000

(※18/3予想比)

〔事業環境〕

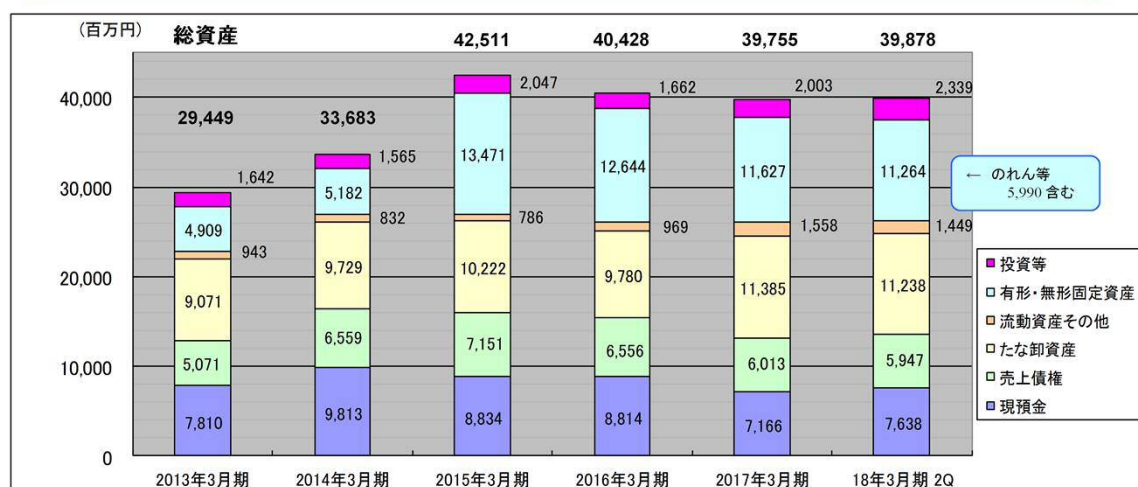
- × 風営法改正による遊技機規則改正、パチスロ機の射幸性の規制強化
ギャンブル等依存症対策の強化、受動喫煙防止対策の必要性
東京オリ・パラ開催による遊技機の入替自粛

他社との販売提携の推進や統合シナジーを活かした事業機会の獲得と
事業力の強化

・貸借対照表	・・33,34
・キャッシュ・フロー	・・35
・設備投資額、減価償却費、研究開発費	・・36
・為替影響	・・37
・半期別業績推移 (2015/3～17/3月期)	・・38
・四半期別・セグメント別売上高推移 (2015/3～18/3月期 2Q)	・・39
・業績推移	・・40
・遊技機市場関連情報	・・41
・海外カジノ関連情報	・・42
・国内カジノ関連情報	・・43
・事業セグメントの概要	・・44,45

資産の部 : +1億22百万円 (前期末比)

流動資産 + 149 : 現預金 +471、たな卸資産 △147、その他△109
 固定資産 △ 26 : 固定資産 △362、投資その他 +336



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	18年3月期 2Q
米ドル	94.06	102.91	120.28	112.69	112.18	112.74
ユーロ	120.77	141.60	130.38	127.68	119.81	132.18

2017年9月末の資産合計は、前期末と比較して、1億22百万円増加し、398億78百万円となりました。

主な増減の内容としては、

「現預金」が新株予約権の行使による資金調達から、短期借入金の返済分を差し引いて4億71百万円の増加、「たな卸資産」1億47百万円の減少、「流動資産その他」1億9百万円の減少などにより、流動資産で1億49百万円の増加となりました。

また、有形固定資産で1億51百万円の増加、無形固定資産で5億14百万円の減少、投資その他で3億36百万円の増加などにより、固定資産では26百万円の減少となりました。

- ・営業CF : 税金等調整前純利益 840、償却費 574、法人税支払 $\Delta 300$ 、
 運転資本(売上債権・仕入債務・在庫)の増減 $\Delta 306$
- ・投資CF : 有形固定資産取得 $\Delta 389$
- ・財務CF : 新株予約権行使により+3,279、短期借入金返済 $\Delta 2,766$
 配当金支払 $\Delta 226$

	'13/3月期	'14/3月期	'15/3月期	'16/3月期	'17/3月期	'18/3月期 2Q
営業活動によるCF	918	2,098	1,801	1,758	611	641
投資活動によるCF	$\Delta 166$	$\Delta 545$	$\Delta 6,991$	$\Delta 242$	$\Delta 293$	$\Delta 405$
財務活動によるCF	$\Delta 537$	$\Delta 626$	5,181	$\Delta 1,414$	$\Delta 1,688$	247
現金及び同等物に係る換算差額	259	579	334	$\Delta 121$	$\Delta 278$	$\Delta 11$
現金及び同等物の増加額	474	1,506	325	$\Delta 19$	$\Delta 1,647$	471
現金等期末残高	6,982	8,488	8,814	8,794	7,146	7,618
フリー・キャッシュ・ フロー	752	1,553	$\Delta 5,190$	1,516	318	236

キャッシュ・フローの主な増減内容は、下記のとおりです。

◇営業活動CF +6億41百万円

- ・主な増減要因は、税金等調整前純利益 8億40百万円、
 減価償却費(のれん含む) 5億74百万円、
 運転資本(売上債権・仕入債務・在庫)の増減
 $\Delta 3$ 億6百万円
 法人税の支払い $\Delta 3$ 億円

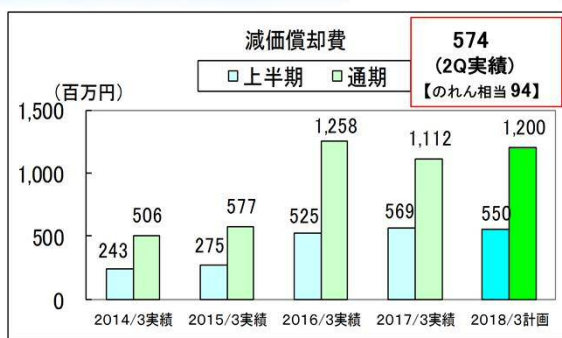
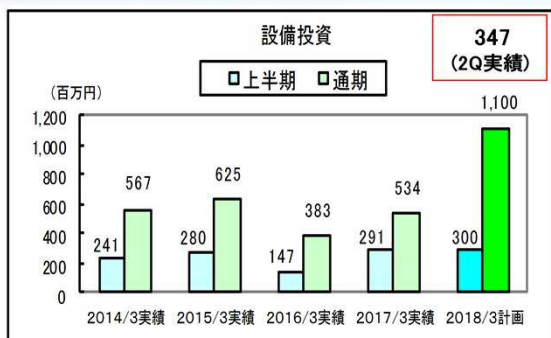
◇投資活動CF $\Delta 4$ 億5百万円

有形固定資産の取得 3億89百万円、

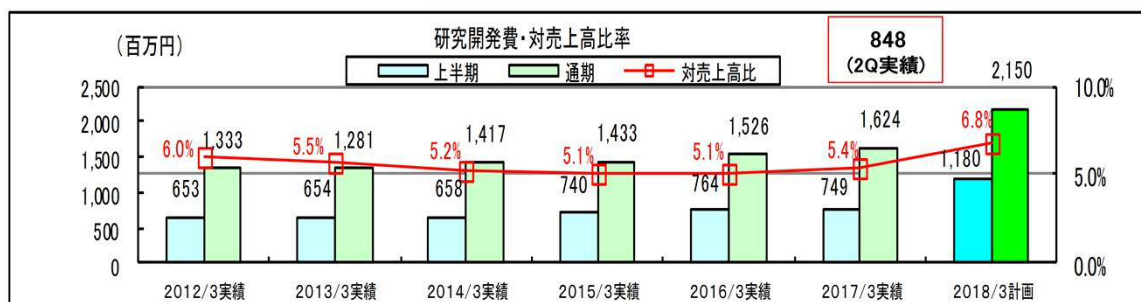
◇財務活動CF + 2億47百万円

- ・主な増減要因は、新株予約権行使による自己株式の処分
 $+ 32$ 億79百万円
 短期借入金の返済 $+ 27$ 億66百万円
 配当金支払 2億26百万円

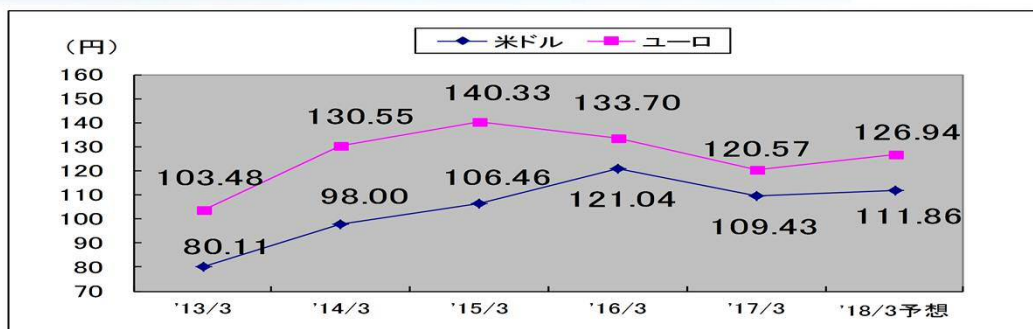
◇現金同等物の換算差額 $\Delta 11$ 百万円



のれん相当償却費(内数) ※ [] 内は上半期 [325] 649 [299] 575 [290] 580



設備投資、減価償却費、研究開発費の推移と進行年度の予想を表示しております。



1円当たりの営業利益への影響額 (年間：百万円) ※円安が業績にプラスに

	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3 予想
米ドル	9	18	11	21	23	23
ユーロ	6	7	6	5	9	9

◇期中平均レート (円)

	2017/3実績	2018/3予想	為替感応度 ~売上高~(百万円)
米ドル	109.43	111.86	93
ユーロ	120.57	126.94	67

◇期末日レート (円)

	2017/3期末	2018/3 期末予想	為替感応度 ~営業外~(百万円)
米ドル	112.18	112.00	35
ユーロ	119.81	132.00	0.3

当社グループでは、グループ内の海外取引に係る商流変更の実施により、為替影響を低減させる取り組みを実施しております。

進行年度の通期の期中平均レートは、米ドル 111.86円、ユーロ 126.94円 としております。

	2015/3 実績			2016/3 実績			2017/3 実績		
	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期	上半期	下半期	通期
売上高	13,324	14,593	27,917	14,501	15,260	29,761	15,298	14,932	30,230
売上原価	8,494	9,052	17,546	8,621	9,387	18,008	9,338	8,952	18,290
売上総利益	36.2% 4,829	38.0% 5,541	37.1% 10,370	40.5% 5,880	38.5% 5,873	39.5% 11,753	39.0% 5,959	39.3% 5,873	39.5% 11,940
販管費	4,106	4,979	9,085	5,261	4,994	10,255	4,812	5,268	10,187
営業利益	5.4% 723	3.9% 562	4.6% 1,285	4.3% 618	5.8% 879	5.0% 1,497	7.5% 1,147	4.1% 605	5.8% 1,752
営業外損益	334	547	881	86	△ 442	△ 355	△ 581	362	△ 219
経常利益	7.9% 1,057	7.6% 1,109	7.8% 2,166	4.9% 705	2.9% 437	3.8% 1,142	3.7% 566	6.5% 967	5.1% 1,533
特別損益	△ 16	△ 269	△ 284	△ 1	△ 81	△ 81	311	10	320
税引前利益	1,041	840	1,881	704	356	1,060	877	977	1,854
法人税等	280	114	394	239	463	702	473	368	842
親会社帰属純利益	5.7% 760	5.0% 726	5.3% 1,486	3.2% 464	-0.7% △ 107	1.2% 357	2.6% 403	4.1% 609	3.3% 1,012
平均為替レート									
米ドル	102.22円	110.70円	106.46円	120.50円	121.58円	121.04円	111.79円	107.07円	109.43円
ユーロ	139.84円	140.82円	140.33円	133.85円	133.55円	133.70円	124.24円	116.90円	120.57円

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

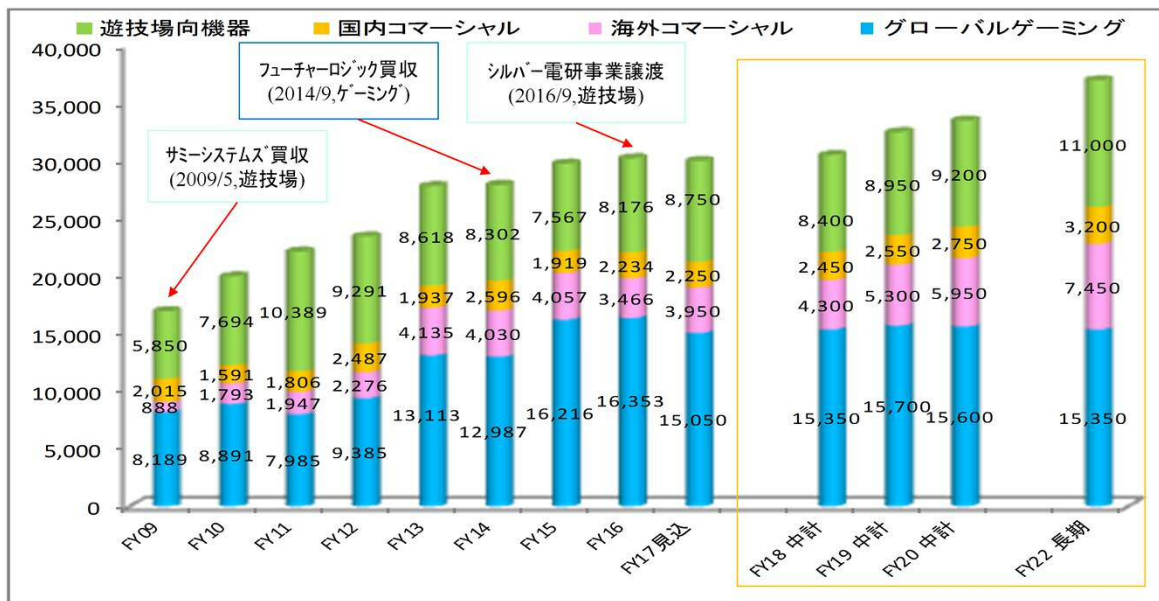
38

過去3年間の業績を、上半期と下半期に分けて表示しております。

	2015/3 実績					2016/3 実績					2017/3 実績					18/3実績	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q
売上高	6,425	6,899	7,265	7,328	27,917	7,148	7,353	7,903	7,357	29,761	7,398	7,900	7,738	7,194	30,230	7,140	7,855
グローバル・ینگ	3,172	3,115	2,893	3,808	12,987	3,775	4,021	4,156	4,266	16,216	4,124	4,415	3,903	3,909	16,353	3,722	4,038
(内数プリンター)	-	-	(317)	(1,026)	(1,343)	(1,035)	(1,195)	(1,193)	(1,236)	(4,658)	(1,097)	(1,044)	(1,114)	(1,147)	(4,402)	(935)	(1,054)
海外コマース	602	829	1,252	1,348	4,030	1,061	964	1,036	997	4,057	876	1,008	810	769	3,466	928	1,146
(内数プリンター)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(182)	(69)	(-)	(252)	(15)	(86)
国内コマース	568	760	790	478	2,596	472	471	416	560	1,919	511	467	379	877	2,234	485	644
遊技場向機器	2,081	2,195	2,330	1,695	8,302	1,839	1,897	2,295	1,536	7,567	1,885	2,010	2,647	1,634	8,176	2,004	2,027
(内数S社譲受)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(60)	(303)	(261)	(624)	(368)	(362)

(業績の取り込み時期) プリンター(海外): 2014/9~, S社譲受事業(遊技場): 2016/9~

過去3年間と進行年度の上半期迄の期間の四半期別、セグメント別の売上高の推移を表示しております。



	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17 予想	FY18 中計	FY19 中計	FY20 中計	FY22 長期
売上高	16,945	19,970	22,129	23,441	27,806	27,917	29,761	30,230	30,000	30,500	32,500	33,500	37,000
営業利益	△ 363	539	1,052	1,330	1,761	1,285	1,497	1,752	1,150	1,300	1,750	2,000	2,800
純利益	△ 940	666	778	1,432	1,418	1,486	357	1,012	1,480	800	1,150	1,300	1,700

2018年3月期 2Q累計実績

日本金銭機械 (6418)

過去8年の業績推移に進行年度の見込、そして次期・中計と長期ビジョンの数字を加えて表示しております。

・遊技機の射幸性抑制等の動き

射幸性を抑制した遊技機への移行やギャンブル等依存症抑制を目的として、「風営法施行規則」及び「遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則」の改正が9月4日に公布され、来年2月1日から施行される見込となった。 今回の改正のポイントは主に遊技機の性能を規制するものであり、パチンコの出玉の上限を現在の約2/3、パチスロも同水準にする方針で、客が4時間で5万円を超える金額相当の出玉を得られないようにするものである。 今回の規則改正に至った背景としては、IR推進法案が昨年末に成立したことを受けて、実施法案にギャンブル依存症対策がパチンコや公営ギャンブルも含めて包括的に盛り込まれた為である。 また、パチスロに関しては、業界が自主的に進める高射幸性遊技機の撤去が段階的に行われていること(本年12月末迄にパチスロ総設置台数の30%まで引き下げ)や、東京都では「受動喫煙防止条例」が制定される見込みであるなど、ホールは苦境に立たされている。

・パチンコホール売上高

徐々に減少幅は小さくなっているものの、平成29年8月実績まで41ヶ月連続で対前年同月比マイナスと厳しい状況が続いている。

	前年度比 増減		前年同期比 増減
平成26年度	△ 6.6%	平成29年度	1～3月累計 △ 6.1%
平成27年度	△ 6.4%		4～6月累計 △ 3.4%
平成28年度	△ 11.2%		7～8月累計 △ 2.7%

(注)・『経済産業省 特定サービス産業動態統計調査』より

・遊技場関連統計

参加人口は前年比△12.1%の940万人、市場規模も同△6.9%の21兆6,260億円となった。

	市場規模 (億円)	参加人口 (万人)	ホール数 増減率 (店)	パチンコ設置台数 (万台)	パチスロ設置台数 (万台)	合計 (万台)	1店舗当たり平均 遊技設置台数 (台)
平成25年度	250,050	970	-2.1% 11,893	65.3% 300	34.7% 160	461	387.8
平成26年度	245,040	1,150	-2.2% 11,627	64.3% 295	35.7% 164	459	395.4
平成27年度	232,290	1,070	-2.7% 11,310	63.7% 291	36.3% 166	457	405.0
平成28年度	216,260	940	-2.9% 10,986	62.6% 283	37.4% 169	452	411.9

(注)・ホール数、パチンコ・パチスロ設置台数等は年末時点の数値、『警察庁保安課まとめ』より

1. マカオ

2017年度の10月までの累計カジノ収益は前年同期比19.2%増の2,200.10億パタカ(約3兆1,901億円)となった。単月で見ると、昨年8月度以降、15ヶ月連続で前年同月比プラスで推移している。2016年度には単月で200億パタカ台は1度だけであったが、今年度は既に8回も大台を突破している。

この要因としては、中国政府の反腐敗運動の影響を受けて減少していたVIP顧客が回復してきたことと一般観光客の増加に伴うマス市場の拡大が挙げられている。

◇マカオカジノ収益推移〔1～10月累計〕(上段:億パタカ、下段:前年(同期間)比増減率)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度 政府期初予想
年間	2,678.67	3,041.39	3,606.49	3,515.21	2,308.40	2,232.10	2,450.00
1～10月	2,212.00	2,510.11	2,971.09	3,039.67	1,960.74	1,846.07	2,200.10
増減率	+45.4%	+13.5%	+18.4%	+2.3%	△35.5%	△5.8%	+19.2%

2. 米国 ネバダ州

ネバダ州も、ラスベガスへの中国人客の回帰により、売上が増加

◇ネバダ州カジノ収益推移〔1～9月累計〕(百万\$,出所『US Gaming Research Reports』)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
3Q累計	8,156	8,281	8,275	8,299	8,383	8,713
増減率	—	+1.5%	△0.1%	+0.3%	+1.0%	+3.9%

マカオ市場における今年1～10月のカジノ売上高累計実績は、2,200億パタカと前年同期比で19.2%の増加となりました。

単月では、昨年8月以降15ヶ月連続で前年同月比でプラスで推移しております。

要因としては、中国政府の反腐敗運動の影響を受けて減少していたVIP顧客が回復してきたことと、一般観光客の増加に伴うマス市場の拡大と考えられております。

また、米国ネバダ州の2017年度3Q累計のカジノ売上高は、前年同期比で3.9%増となりました。

こちらも、ラスベガスへの中国人観光客が回帰していることが要因として挙げられております。

【政府】

先の衆議院の解散により、『IR推進法案』の提出が来年の通常国会以降になる見込みとなった。当初目指していた今秋の臨時国会への提出から大幅に遅れ、早くても2020年以降とされていた国によるIR地域の選定作業にも影響を与えることは必至である。このように遅々として進まない状況のなか、豪のクラウン社が日本IRへの展開を見送るコメントをするなど、一部の海外オペレーターの意欲も低下傾向にあると報じられている。

【自治体】

◇大阪

大阪府・市IR推進局は、IR推進会議(有識者、IR推進局長、計9名で構成)を3月以降、計5回開催された。政府の「IR推進会議」での討議内容も踏まえながら、大阪がめざす方向性・IRの必要性、大阪IRの基本コンセプト、懸念事項と最小化への取組みといったテーマについて、討議を進めている。8月末に中間骨子が公表され、今後議論を重ね、12月までにIR基本構想(案)を策定する予定としている。また、府・市IR推進局は府民向けIRセミナーを開催し(来年2月迄に10回以上を予定、定員200名程度/回)、IR誘致に向けた取組みに対する住民の理解を深めてもらう活動も進めている。

国内IRに関する情報をまとめております。

グローバルゲーミング

主な納入先：
スロットマシンメーカー、カジノホール

ゲーミング向
プリンター



紙幣識別機



キオスク/精算機

海外・国内コマーシャル



遊技場向機器

主な納入先：
パチンコホール



メダル自動補給回収システム

紙幣搬送器



玉・メダル貸機

据置景品払出機



景品管理POS



セグメント別での主な製品を記載しております。

グローバルゲーミング

ゲーミング向プリンター (世界市場)

競争企業
・Transact (USA)
・Nanoptix (CAN)

70%

紙幣識別機 (世界市場)

競争企業
・Crane payment innovations (MEI, Cash Code, Money Control : (USA))
・Innovative Technology (UK)

60%

Image of gaming machines and a printer with red arrows pointing to them.

国内コマーシャル

バス

ガソリンスタンド

パーキング

外貨両替所(窓口)

> 50%

Image of a bus, gas station, parking lot, and currency exchange machine.

遊技場向機器

メダル自動補給回収システム

競争企業
・㈱オーイズミ(6428)
・㈱ジェッター(非上場)

20%

Image of an arcade machine.

各製品のシェアは、弊社推定値

日本金銭機械(6418)

主な製品や用途別のシェア(弊社推定)を記載しております。